

辰巳 和美議員



女性が活躍できる施策は

辰巳議員

今回本村は、持続可能性自治体に選ばれた。市町村議会議員研修を受け、女性議員の会でも同様の講演を頂いた。

持続・消滅可能性自治体とは、国勢調査で、出産に着目した女性の指標で決まる。本村は、若年女性が増加の経緯に技能実習生・学生や企業・農家等の働き手として外国から来られた女性の増加が影響していると考えられる。純粋に喜べる状況ではない。

1985年国連の「女子差別撤廃条約」の制定以降が男女共同参画のターニングポイントとなっている。世の中の半数以上が女性であるが、指導的地位に占める女性の割合は、男性より低いのが現状だ。様々な課題に取り組む際に、女性の視点や意見を取り入れる十分な場がないため意見が多様にならない。

固定的性別の役割分担の意識改革も必要ではないかと考える。

若年女性に限らず、女性がもっと活躍できる本村の取り組みを尋ねる。

女性に選ばれ、活躍を支援できる村づくりを進めていく

村長

人口戦略会議で今年4月、「日本の地域別将来推計人口」にもとづき、自立して持続可能な形で存続できると評価された。

現在、女性が活躍できる施策として熊本県の認定を受けた農業女性アドバイザーが6名おり、女性農業者の活動を促進している。女性の視点を活かした農業・農村の振興・発展を目的に活動し、農村女性の社会参画・家族経営協定推計、青年農業者等への相談活動、地域農業振興への貢献を行っている。

農業担い手支援は、みらい公社設立や地域おこし協力隊の活躍で、女性の積極的配置で農業分野の担い手を育成。次に移住支援は、情報提供やお試し移住体験施設の整備など、移住者を積極的に受け入れる環境を整えた。子育て支援は、出産祝い金の支給・高校生までの医療費の無償化・学校給食費半額補助など子育て支援を充実させている。これらの取り組みにより、持続可能な地域社会を目指して活性化を図っている。

広報誌で男女共同参画の記事を掲載し、広く周知するとともに、令和5年3月、第3次男女共同参画推計基本計画を策定し概要版を村内全戸に配布。今後も女性に選ばれ、活躍を支援できる村づくりをさらに進めていく。



辰巳議員

様々な取り組みは、今後も多岐にわたり継続していかなければならない。本議会も女性是一人であり私の考えが女性の総意ではない。

多様な意見や考えを取り入れる為にも、随時内容を精査し情報を共有し議会と執行部が両輪であゆみつつ、もっと女性の視点を取り入れ活躍できる村になることを強く望む。

